



急性期・重症患者看護専門看護師 鈴木清恵

突然の怪我や重症な病は、めまぐるしく症状が変化します。その中で怪我や病気と向き合うことは、患者さん・ご家族にとって過酷な治療環境の中で生活し、いのちや生き方を考え、決断をしなければなりません。そのような患者さん・ご家族に合わせて6つの役割を担いながら看護の力を最大限に発揮し、回復へのお手伝いをさせていただきます。これらの活動に加え、現在は院内で立ち上げた「フットケアチーム」のメンバーとして、下肢救済ケアの活動にも携わっています。このような活動より、よい結果が生まれる現場づくりに地域社会に貢献したいと考えています。

集中ケア認定看護師 畑貴美子 高田真希

私は普段ICUに入室している患者さんにご家族のケアを行っています。ケアのなかで大切にしていることは、患者さんの「その人らしさ」を忘れず、少しでも非日常の世界の中に日常生活を取り入れられるようにすること、そして早期回復につなげることです。ご家族にも少しでも希望に添える看護を提供できるよう日々努力をしています。

また一般病棟にも訪問し、ICU退室後患者へ退室後訪問、人工呼吸器を装着患者のリハビリテーション、入浴介助、散歩など、重症患者のQOLの向上につながるケアを行っています。

院内での医療チームの活動としてもRST（呼吸ケアサポートチーム）として院内の呼吸ケアの向上、RST（院内急変サポートチーム）として急変を防ぎ、患者の重篤化を防ぐ活動を、医師、理学療法士、臨床工学技士ら医療スタッフと共にしています。

そして院内教育として集中治療領域におけるシミュレーション研修などを開催しています。より魅力的、効果的、効率的な研修を開催し、院内看護師の皆様が自ら成長できる環境づくりに努めています。

小児救急看護認定看護師 椎名一美

小児科病棟を中心に、新生児集中治療室・小児科外来、救急外来・救命救急センターで活動をしています。こどもの安全と家族の安心を支え、初期対応から入院中の子どもたちの QOL の向上に病棟をはじめとした看護スタッフとともに、小児科医・チャイルドライフスペシャリスト・こども療養支援士・保育士・MSWらと協働して子どもが少しでも早く元気になるための手助けと家族支援を中心に活動をしています。

感染症などで入院する子どもたちが点滴などの処置や入院生活を少しでも不安なく過ごせるように、また手術や心臓カテーテル検査などの検査を受ける子どもたちが安心して臨めるように取り組んでいます。

感染管理認定看護師 梅村裕子 松本ひろみ

院内の感染制御チームの一員として、患者さんを含む来院者や医療従事者など全ての人々への感染予防に努めています。具体的には、院内ラウンドや感染症発生時の対応、臨床でのモデル的役割を担うリンクスタッフの育成や全職員を対象とした研修会の開催などを行っています。感染対策は全ての職員の協力が必要です。全ての医療スタッフと連携し、職種や部署を超えた感染管理活動を実践し、安全で安心できる病院作りのために活動しています。

皮膚・排泄ケア認定看護師 角和恵 田中優子 小泉愛衣

皮膚・排泄ケア認定看護師とは、創傷・ストーマ・失禁の患者を対象に専門的なケアを提供する看護師です。ストーマに関しては手術前からの導入やサイトマーキングを行っています。排泄経路が変わる患者さんの精神面なケアから、手術後の身体的なケア、家族を含めた指導なども行い全人的な関わりを目指しています。週に1回ストーマ外来を開設し、退院後の患者さんのフォローを行っています。また、褥瘡ハイリスク加算に貢献しており、週に1回、多職種での褥瘡回診を行っています。失禁に対する予防的スキンケア・皮膚トラブルに対するケア介入も行っています。定期的に勉強会を実施し、スタッフ全員が予防的なケアの提供ができ、みなさまの健康な皮膚を保てることを目標としています。

緩和ケア認定看護師 清雲聡子

がん患者様とその傍らで支えるご家族を中心に、ケアを行っています。身体のつらさと心のつらさが最小限となり、その人が望む暮らしを継続できるよう努めています。

緩和ケア支援チーム（医師3名、緩和薬物療法認定薬剤師、緩和ケア認定看護師、管理栄養士相談員）と主治医・病棟スタッフが協働してケアに努めています。

「あなたの希望を支えます」をモットーに、いつでもどこでも緩和ケアが提供される病院を目指しています